

日本地質学会第117年総会記事

議 事 録

以下のとおり、第117年総会を開催した。
日時 2010年5月23日(日) 18:00-18:45
会場 幕張メッセ国際会議場 304会議室

総会開始にあたり、議長・副議長、書記として、本日出席代議員の中から以下の方々を選出した。

議長: Simon Wallis; 副議長: 中澤 努;
書記: 延原尊美・古川竜太

議長より、現時点での出席者数は、委任状(44名)・議決権行使書(22名、全議案承認)を含め137名で、定款所定の定足数(101名)をこえる出席者があるので成立している旨宣言し、議事に入った。

1号議案 2009年事業経過報告

渡部常務理事より事業経過報告がなされ、今年度の逝去会員15名(名誉会員5名、正会員10名)にたいし黙祷を捧げた。特に質問等はなく、本議案を賛成多数で承認した。

2号議案 2009年度決算報告と資産の処分

会計担当の向山理事から報告と説明があった。また、青野監事より、2009年度の会計については、預貯金の残高証明書等を確認するなどし、適切に処理されていることを確認した旨の会計監査報告があった。引当金取崩しについての質疑応答があったのち、本議案を賛成多数で承認した。(P.5-8参照)

3号議案に入る前に、出席者数の再確認がなされ、出席者数は委任状、議決権行使書を含め、144名であることが議長より報告された。

3号議案 任意団体の解散

渡部常務理事より、前期の総会での承認にしたがい、2009年度末にて任意団体の日本地質学会を解散すること、そのために、2010年4月1日をもって一般社団法人日本地質学会に、事業および財産のすべてを譲り渡すための「譲渡契約書」を、同法人と交わしたことが報告された。(P.9参照)

特に質問や意見等はなかったが、重要な議案であるので、採決カードにより決をとった結果、出席者全員の賛成を得て、任意団体の解散を承認した。

会長挨拶

宮下会長より、任意団体としての日本地質学会から一般社団法人日本地質学会への約1年半の移行期間を経て、第3号議案の議決をもって、任意団体としての日本地質学会は

117年の長い歴史にピリオドをうち、ここに解散すること、そして今後は、一般社団法人日本地質学会がその事業・財産・任務を引き継ぎ、責任の主体となることが宣言された。

2010年5月23日

2009年度事業経過報告

1. 報告事項

1) 会員の動静

2010年4月末現在の会員は、賛助会員28社、名誉会員72名、正会員4025名(うち院生割引105名)、準会員〔法人:正(学部割引)〕2名、会員総数4127名、2009年4月末と比べて139名の減少であり、その内訳は次のとおりである。

入会者 142(賛助0社、正会員128名〔うち院生割引97名〕、準会員14名)

退会者 141(賛助2社、正会員137名〔うち院生割引11名〕、準会員2名)

除籍者 125(正会員 125名)

逝去者 15(名誉会員5名、正会員10名)
名誉会員:加納 博(2009/6/6)、松井健(6/21)、羽鳥謙三(9/2)、市川浩一郎(11/25)、古川和代(2010/3/4)

正会員:井田隆勝(2009/6/6)、山崎謙一(9/3)、青木 清(8/30)、飯島治男(10/12)、堀越 毅(10/16)、鈴木康司(11/8)、植田和男(11/9)、根本 守(12/2)、本庄 充(1/4)、坂 幸恭(3/31)

2) 学会運営に関する諸集會及び委員会等の活動

<第116年総会>

日時:2009年5月17日 17:45~18:54

会場:幕張メッセ 国際会議場302会議室

議決権総数 201, 定足数 101

審議事項:1) 2008年度事業経過報告, 2) 2008年度決算報告, 3) 2009年度事業計画案, 4) 2009年度予算案, 5) 名誉会員の推薦, 6) 任意団体日本地質学会の解散に

ついて

<委員会等の開催>

・理事会(12回) 議事内容、報告等については、随時HP、ニュース誌に掲載

・定例評議員会(3回) 議事内容、報告等については、随時HP、ニュース誌に掲載

・その他委員会: 総務委員会(会計委員会)、広報委員会(インターネット委員会)、行事委員会、地質学雑誌ならびにアイランドアーク編集委員会、地質基準委員会、男女共同参画委員会、法務委員会学会など、メールによる会議を含め、随時開催。

*各賞選考委員会(選考検討委員会、アイランドアーク賞選考委員会を設置し、該当賞の選考を諮問)、名誉会員推薦委員会、選挙管理委員会は一般社団法人の委員会として始動。

3) 行事の開催

(1) 第116年総会

会 期:2009年9月4日~6日

会 場:岡山理科大学

参加者:858名(会員817名、非会員41名)

・一般発表:483件(申込み488件):口頭286件(申込み288件)、ポスター197件(申込み200件)

・シンポジウム:8件(73講演)

・優秀ポスター賞の授与:9件(ポスター発表のみ)

・見学旅行:実施10コース

・ランチョン:専門部会を中心に12件

・夜間小集会:11件

・就職支援プログラム:2009年9月5日参加企業・団体:8社・1団体

<日本地質学会各賞の授与式・記念式典>

日時:9月4日(金)、会場:岡山理科大学25号館8階ホール

・日本地質学会賞記念講演「レオロジーと岩石学、そして地球内部ダイナミクス」(鳥海光弘会員)、「オフィオライトと東北アジアの地質学的研究」(石渡 明会員)

・日本地質学会国際賞受賞記念講演「私の



任意団体の解散について、出席者全員の賛同を得る(左)。挨拶をする宮下会長(右)。

北極・南極」(太田昌秀博士)

- ・日本地質学会小澤儀明賞受賞記念スピーチ「いろいろやってみる—地球生命環境史の総合解説—」(小宮 剛会員), 「忘れられていた珪藻化石—キートケロス属休眠胞子化石—」(須藤 斎会員)
- ・日本地質学会榊山雅則賞受賞記念スピーチ「小さな石」(水上知行会員)

<年会関連行事>

- ・地質情報展2009おかやま—ワクワク発見 瀬戸の大地— 2009年9月5日~6日

共催: 林原自然科学博物館(岡山市デジタル

ミュージアム) 参加者: 約2000名

- ・市民講演会「大地から考える地球環境—地質と生物・農業の深い関係—」2009年9月5日, 参加者: 約130名, 講師: 波田義夫, 武田 弘

- ・ジオパークワークショップ「ジオパークによる地域活性化をめざして—地域と地質学者の連携のあり方をさぐる—」2009年9月5日, 日本ジオパークネットワーク 共催, 参加者: 約80名

・地学教育委員会

小さなEarth Scientist のつどい~第7回小・中・高校生生徒地学研究発表会: 2009年9月6日, 参加校13校, 15件, うち4件に優秀賞を授与。

第8回理科教員対象見学旅行: 2009年9月5日, 「岡山県南部の花崗岩類(万成石)と文化地質学」

(2) 地質の日 本部イベント

- ・「特別講演会 火山はすごい!—日本列島の火山をさぐる」(講師: 鎌田浩毅会員), 5月10日, 科学技術館

4) 出版物の刊行

<地質学雑誌>

- ・115巻4号(2009年4月)~116巻3号(2010年3月)を刊行した。総ページ数は720ページ。

・地質学雑誌補遺: 岡山大会見学旅行案内書 冊子版およびCD-ROM版

<日本地質学会ニュース>

- ・12巻4号(2009年4月)~13巻3号(2010年3月)を発行した。総ページ数は365ページ。

<Island Arc>

- ・Island Arc 編集委員会の編集により, Wiley-Blackwell社よりVol.18, Issue 2~ Issue 4 Vol.19, Issue 1 を刊行した。総ページ数は638ページ。

<その他>

- ・日本地方地質誌6巻「中国地方」(朝倉書店) 9月5日に刊行。
- ・フィールドジオロジー6巻「構造地質」(共立出版) 12月23日に刊行。

5) 関連外部委員会への協力

下記の関連外部委員会等に対して本学会から選出された委員を通じて, これまでに引き続きそれぞれの活動, 関連学会の発展と連携

に協力した。

日本地球惑星科学連合: 評議員(宮下純夫), 連絡委員(久田健一郎), プログラム委員(七山太), キャリアパス支援小委員会委員(佐々木和彦), 環境・災害対応委員会・災害の委員(横山俊治), 環境・災害対応委員会・環境の委員(小荒井衛), 学術出版委員会委員(井龍康文), 教育問題検討委員会(矢島道子, 芝川明義, 中井睦美, 渡邊正人), 国際委員会(副委員長 公文富士夫), 地質科学関連学協会連合(天野一男), 自然史学会連合(斎木健一), 地理関連学会連合(藤本光一郎), 地質技術関連学協会継続教育協議会(CPD, 公文富士夫), 日本技術者教育認定機構(JABEE, 天野一男), 国際惑星地球年(IYPE)日本委員会(佃 栄吉), 地質の日実行委員会(委員 藤林紀枝) 原子力総合シンポジウム(運営委員, 高橋正樹), アイソトープ・放射線研究発表会運営委員会(運営委員, 小笠原正継), 地質情報活用機構(GUPI) 技術者の認定制度創設のための委員会委員(山本高司) 富士学会: 富士山科学看板設置調整委員会(専門委員 高橋正樹), 日本ジオパーク委員会(委員 高木秀雄), 大学評価・学位授与機構の専門委員など。

6) その他報告事項(主なもの, そのほかはNews誌, HPに掲載の理事会議事録, 評議員会議事録参照)

<特に他学協会との共催・後援, 協賛行事, 開催年月日に関りなくこの期間に依頼のあったもの>

- ・JAMSTEC主催の一般講演会(9/6 岡山)の共催。

・日本アイソトープ協会: 第47回アイソトープ・放射線研究会(2010年7/7-9日)の共催, 運営委員: 小笠原正継。

・科学教育研究協議会, 第57回全国研究大会(武庫川女子大学附属中学校・高等学校, 2010年8/4-6)の後援。

・日本原子力学会, 原子力総合シンポジウム2010(5月開催)の共催, 運営委員: 高橋正樹。

7) 支部の活動

<北海道支部>

(1) 北海道支部総会(2009年5月30日)

- ・個人講演会(8件)
- ・日本地質学会長講演会「オマーンから日高—マントルと海洋地殻を見る—」日本地質学会長 宮下純夫

(2) 「地質の日」記念展示(2009年4月28日~5月31日)

北海道大学総合博物館企画展示「支笏火山と私たちの暮らし」, 日本応用地質学会北海道支部・北海道大学総合博物館・北海道地質調査業協会・札幌建築鑑賞会・札幌軟石文化を語る会の共催

(3) 支笏洞爺国立公園60周年記念行事「支笏火山と市民の暮らし」展(2009年6月2日~7月15日)

(4) 北海道地質百選シンポジウム「北海道の地質 魅力発見!」(2009年10月17日)

(5) 北海道支部臨時総会(2010年3月20日)

・個人講演会(8件)
*2010年度の支部体制 支部長: 竹下 徹(北大), 幹事(庶務): 高嶋礼詩(北大)
<東北支部>

*2009年12月 宮城から福島に事務引き継ぎ。

*2010年2月 2009-2010年度の運営体制と事業計画・予算案等について会員にメールで提案した。会員からの異論は無く次のおり進めることとした。

(1) 運営体制

支部長: 竹谷陽二郎(福島県立博物館)
幹事: (代表) 長橋良隆, 柴崎直明, 難波謙二(以上, 福島大学)

(2) 事業計画

2010年度中に支部例会および総会を開催する。また, 地質学に関する普及活動を進めている地域への研究等の協力・支援, 例えばジオパークに関する活動を行っている地域への学術的および人的支援などを行う。

<関東支部>

(1) 地質技術伝承講演会—技師長が語る地質工学余話シリーズ—の開催

第4回(4月11日) 農業の有する多面的機能と地質技術者の役割(講師 山本昭夫(中央開発))

第5回(5月10日) 海底探査(海底調査)の魅力・海洋地質学の基礎を学ぶ(講師 安間 恵(川崎地質))

会場: 国立科学博物館日本館4階 参加者: 各50名

第6回(6月6日) 山岳トンネルの地下水問題にどう取り組んできたか(講師 大島洋志(国際航業))

会場: 国立科学博物館新宿分館 参加者: 120名

(2) ジオパークを目指して

・秩父地域の観察会と講演会(2月13日) 参加者80名

ジオサイト観察会 長瀬の岩畳

ジオパーク講演会 久喜邦康 秩父市長挨拶

「日本地質学発祥の地」秩父とジオパーク 本間岳史(埼玉県立自然の博物館)

「秩父の地形・地質」を代表するジオサイト 小幡喜一(埼玉県立熊谷高校)

・秩父ジオサイトバスツアー(3月6日) 参加者70名

浦山ダム~橋立鍾乳洞~前原の不整合~取方~ようばけ~ミュージアムパーク

案内者: 本間岳史・楡井尊(埼玉県立自然の博物館), 小幡喜一(埼玉県立熊谷高校)

主 催: 秩父市・横瀬市・皆野町・長瀬町・小鹿野町, 埼玉県立自然の博物館, 日本地質学会関東支部

(3) 支部総会とシンポジウム(6月6日)

「関東地方の地質—研究の進展と今後の課題」

日本地方地質誌「関東地方」刊行記念シンポジウム

関東支部総会：支部幹事改選，活動報告，会計報告，活動計画

(4) 2011年学術大会計画準備

8～9月 会場校候補に打診，9月 岡山大会運営視察，10月 立候補会場校を視察，茨城大学選定，11月 関東支部・茨城大学合同会議，12月 大会実行委員会を設立，1月 2011年水戸大会とすることに決定（2011年9月2日～4日）

<中部支部>

- (1) 中部支部総会（6月13日，山梨大学）
- (2) シンポジウム「フォッサマグナ地域の地殻変動現象と中部地方の最新情報」（6月13日，山梨大学）
- (3) 個人講演（口頭，ポスター）（6月13日，山梨大学）
- (4) 地質見学会「八ヶ岳火山とその周辺の地質について」（6月14日，山梨大学）
- (5) 普及行事「小・中学生のための地学野外観察会」（名古屋地学会共催）（11月21日）
- (6) 第117年学術大会（富山）実行委員会，見学旅行準備委員会設立

<近畿支部>

- (1) 共催事業
 - ・地球科学講演会「ヒマラヤ山脈の誕生とモンスーン気候の始まり」
講演者：酒井治孝（京都大学大学院理学研究科）
主催：地学団体研究会大阪支部，日本地質学会近畿支部，大阪市立自然史博物館
実施日：2009年5月9日
会場：大阪市立自然史博物館 講堂
参加者：190名以上
- (2) 後援事業
 - ・特別講演会「地盤工学と地質学の融合—関西国際空港の地盤を例として—」
主催 関西国際空港用地造成㈱
月日：2009年7月3日
会場：エル・おおさか（大阪府立労働センター）
講演：「関西国際空港地盤の解明に果たした地質学の役割」竹村 恵二（京都大学大学院理学研究科）はじめ講演4件

<四国支部>

- ・四国支部総会（2009年11月28日）高知大学共通教育棟
同講演会 口頭発表7件，ポスター発表9件

同巡検 仏像構造線（荒倉トンネル周辺）
担当者 橋本善孝・岡村眞

<西日本支部>

- (1) 2008年度の支部体制・支部長：大木公彦，幹事：佐野弘好・宮本隆実・仲谷英夫・松田博貴，事務局：松田博貴，庶務：磯部博志，会計：小松俊文
- (2) 行事報告
 - ・第158回西日本支部例会・2009年度総会
日時：平成22年2月13日（土），場所：福岡大学
講演件数：口頭講演 26件，ポスター発表 17件
 - ・後援行事等
『「地質の日」くまもと』企画，日時：平成21年5月10日（日）

2. 理事会議決・承認事項および評議員会評議，承認事項

- 1) 第四紀再定義の国内対応方針について，学術会議，産総研，第四紀学会，連合等との共同で，変更に関する背景や影響についての解説やシンポジウム，国内コンセンサス作りをすることとした。
- 2) 国立国語研究所から，著作物の言語データベースKOTONOHAにサンプル文章として著作物（地質基準）の採録許諾について依頼があり承諾した。
- 3) 地質の日の本部主催イベント：市民講演会「火山はすごい！—日本列島の火山をさぐる（講師：鎌田浩毅会員）」を5月10日に開催。
- 4) IYPE日本と共催の第1回惑星地球フォトコンテスト2009を実施，ポスターの作成・配布，新聞広告掲載（産経新聞：東海・北陸・九州版，8万部）
- 5) IARの著作権の管理方針，Copyright Transfer Agreement (CTA)の導入について，承認。
- 6) 地球惑星科学連合及び学協会名で地方分権改革推進委員会第3次勧告，博物館法改正への意見表明をした。
- 7) 行政刷新会議の事業仕分け（次世代スバコン，spring8，深海ドリリング，地球内部ダイナミクス）に対し，地球惑星科学連合及び学協会名で意見書を提出した。
- 8) 地質学雑誌115巻9月号より新編集規則の適用を開始した。
- 9) 年会の旅行及び参加登録について，学会独自のシステムを構築することとした。
- 10) ジオパーク支援委員会は，ジオパーク

宣伝ポスターを作成し，関係機関へ配付した。

- 11) 紹介派遣により1月～3月までの契約で事務局職員1名を雇用することとした。
- 12) 富山大会の業務委託について，アカデミックプレインズに発注することとした。
- 13) モンゴル地質学会と学術交流協定を締結した。
- 14) 地球惑星連合の定款変更に対し，同意書を提出した。
- 15) 年会登録システム構築に際してのクレジット決済導入を検討し，代行者社へ委託することとした。
- 16) 2011年年会開催地の決定：関東支部茨城地区，会場：茨城大学。会期：2011年9月2日～4日。委員長：天野一男，事務局長：岡田 誠。
- 17) IYPE日本委員会ファイナルイベント（2010年3月27—28日開催）へ特別協賛した（特別協賛金12万）。（会期：2010年3月27日：「早大高等学院の高校生，四川大地震記録映画製作者と一緒に語る『大地の変動』」，3月28日：フォトコンテスト表彰式（入賞14作品：会員2名，非会員12名）・27—28日写真展の開催）。
- 18) 第四紀問題に関し，学術会議主催，第四紀および本学会との共催でシンポジウムを開催した。
- 19) 第四紀・第三紀問題について，1月22日公表文書の内容を地質学会の指針とし，雑誌やHPなど学会の公式文書はそれに従うこととする。地層名委員会と理事会の連名で，指針と推奨する年代表をHPやNews誌などに速やかに掲載する。
- 20) 富山大会の見学旅行案内書について，実行委員会から冊子作成の希望があり，検討の結果，冊子作成を承認した。
- 21) 第四紀の下限および「第三紀」の用語不使用等に関しては，合意文書（1月22日，学術会議分科会および第四紀学会・地質学会）に基づく地質学会の方針にそって，116巻3号掲載論文より適用することとした。
- 22) 2010年5月23日の総会で任意団体を解散し，任意団体の全財産および活動を法人に移譲することを承認した。【2号議案】
- 23) 2009年度事業報告・決算案を承認した。【2号議案】
- 24) 総会議案を承認した。